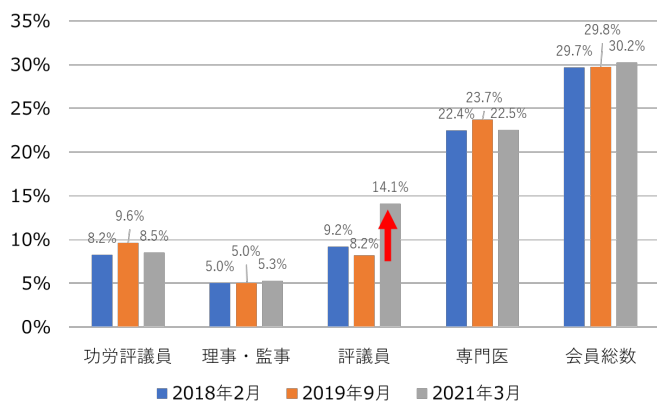


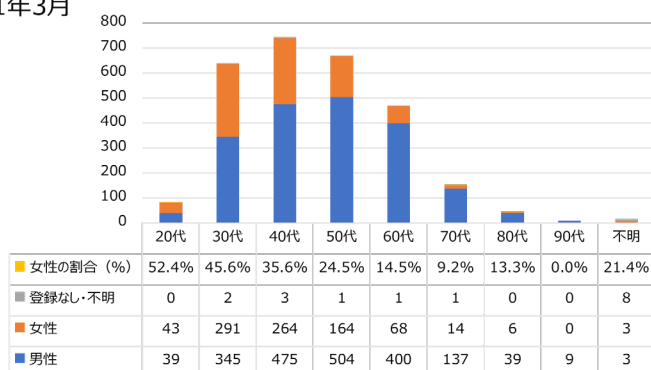
日本甲状腺学会学会員数、各役職の人数、専門医数とそれらの割合の推移

	2018年2月		2019年9月		2021年3月	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
会員総数	2543	100.0%	2702	100.0%	2820	100.0%
名誉会員	31	1.2%	31	1.1%	32	1.1%
功労評議員	85	3.3%	83	3.1%	106	3.8%
理事・監事	20	0.8%	20	0.7%	19	0.7%
評議員	131	5.2%	134	5.0%	135	4.8%
専門医	646	25.4%	683	25.3%	821	30.4%

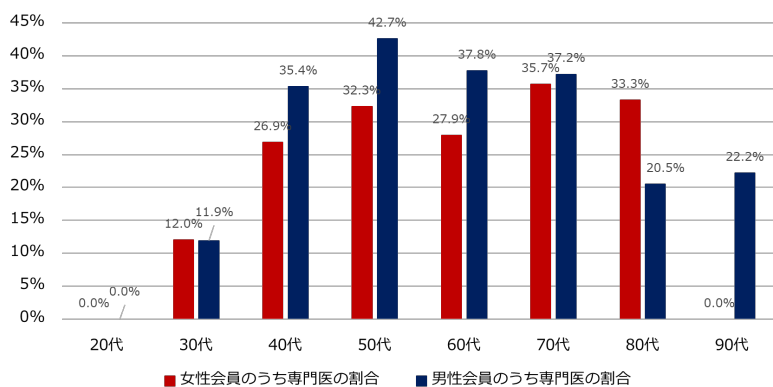
各役職もしくは区分における女性の割合



日本甲状腺学会会員の年代別男女の数と女性の割合 (%) 2021年3月



男女別年代別の会員数に占める専門医の割合 (%) 2021年3月現在



第 62 回日本甲状腺学会学術集会 女性甲状腺医ワークショップ報告

2019 年 10 月 11 日（金）13:40～14:30

2018 年 11 月に開催された第 61 回日本甲状腺学会学術集会にて、日本甲状腺学会に Women in Thyroidology of Japan (J-WIT) 委員会が設立された。同委員会は、女性支援の推進を行うことで甲状腺学の進歩・向上をはかることを目的にしている。目的達成のために①女性会員数の増加と女性甲状腺専門家を育成すること、②各種分野の女性甲状腺専門家間の交流を深めること、③日本甲状腺学会内での女性の活躍を推進すること、④女性の健康に関連した甲状腺の話題を日本甲状腺学会内外で広めること、の 4 テーマについて企画・立案・実施を行う。

令和 10 月 10～12 日に昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)で開催された第 62 回日本甲状腺学会学術集会(山田正信会長)において、J-WIT 委員会主催で、上記 4 テーマおよび「国際交流を深める」を加えた 5 つのテーマについて担当委員と参加者でテーブルディスカッションを行い、テーマごとにその内容を報告した。計 32 名の内科、外科、小児科、眼科など複数の分野の日本甲状腺学会会員の参加によって、和やかな雰囲気でお互いの交流を深めることもできた。

【テーマ①】 女性会員数の増加と女性甲状腺専門家を育成

解決策

- 短期
- ・ 重複する学会における講習で単位として認定できるよう申し入れる (内分泌学会等)
 - ・ 専門医セミナーを e-learning とする。
 - ・ 専門医更新期間の延長
 - ・ 早めの入会をお勧めする (そもそも専門医をとるのに、入会から 5 年近くかかる)。
- 長期
- ・ 甲状腺学会から地方の医師会等への出前講座
 - ・ 地方の甲状腺に関連する勉強会等でも甲状腺学会の専門医講習の一部となるような仕組みづくり。

ゴール・未来ビジョン

「女性であることが、学会入会や専門医取得・維持のハードルにならないようにする」

【テーマ②】 各分野の女性甲状腺専門家間の交流促進

解決策・ゴール・未来ビジョン

学会での取り組み

- ・ 甲状腺関連の学会の共同開催を多くする。
- ・ 多職種の方へのアナウンス・参加を募る
- ・ シンポジウム・ワークショップを活用して、横断的に他科と討論できる機会を設ける

他科・他職種とのコミュニケーションについて

- ・ 横断的なディスカッション (患者さんの経過を主軸にした討論) の場を多く開催する ➡ 市民講座 のような手軽な集まり

【テーマ③】：日本甲状腺学会内での女性の活躍推進

解決策

- 短期：・若い人への学会発表のチャンスを上からも声がけ、サポートする。それにより、論文化へのモチベーションを上げる。
- ・甲状腺専門医の魅力、専門医になることのメリットを伝える。
 - ・女性医師の専門医から評議員になる比率を上げる
 - ・今回のようなワークショップに参加することで人と人とのつながりができる。
 - ・各学会でのレセプション的なものは夜開催が多いが、女性医師の参加が難しいことが多いので、お昼に懇親会を開いて皆で顔を合わせる。
- 長期：・10年後には女性理事を3-4人に。
- ・陰ながら頑張っている女性医師に光をあて続ける

ゴール・未来ビジョン

- ・目に見える形で、活躍する役職のある女性の数を増やす

【テーマ④】：女性の健康に関連した甲状腺の話題を日本甲状腺学会内外で啓発

解決策

短期：

- ・甲状腺学会のホームページ内にJ-WITのページを作り、一般の女性や関連学会に啓発を行っていく。
- 患者向けに甲状腺と女性についてのページを作る。特に若い女性がインターネットで検索をした際にそのページに誘導されやすくなるように工夫する。
- ・女性と甲状腺疾患に関するリーフレットを作成し、内科のみならず産科や小児科の外来にも設置してもらう。
 - ・他学会でどの程度甲状腺と女性医療についての講演がされているか、データベース化する。具体的には自己申告で過去5-10年程度、登録内容はタイトル、日時、演者。今後も順次登録していく。
 - ・他学会（内分泌学会や関連学会）に働きかけ、ジョイントセッションなどを行う。甲状腺と女性医療に関する枠を作ってもらう。具体的には学会を主催する大学や、学会のプログラム委員に働きかける。

長期的：

- ・甲状腺学会員数に関しては、20代では女性会員が男性会員を上回っている。若い世代の会員を学会活動に積極的に取り込む工夫が必要である。
- ・HPやリーフレット作成による取り組みは、一般女性のみならず、若い先生に興味を持ってもらう点でも有用と考えられる。
- ・昼の時間帯に学会員が交流できる機会を持つことは、家庭を持つ女性医師の参加しやすさという点で有効と考えられる。
- ・一般人が相談しやすい体制：具体的には受診せず問診だけでスクリーニングできるサイト造設など。
- ・若い先生のリクルート。J-WIT speaker bank 登録など。

ゴール・未来ビジョン

- ・一般の女性、一般の医師、関連学会に啓発を行う。
- ・現状の把握を行い、データ化することで、研究予算や研究課題の決定に反映してもらう。

【テーマ⑤】：国際交流を深める

解決策

短期的：・参加できる方に海外の学会へ参加していただく。

- ・海外の学会参加を許容する職場環境。
- ・参加はどんな時期でもよいが、より若い先生に。
- ・参加者が情報を提供し共有。
- ・女性用のトラベルグラントをつくる。

長期的：・ベビーシッターなどの援助を利用しやすい社会・環境づくり。